

オール沖縄・日本共産党衆議院議員 沖縄1区選出

# あかみね政賢 国会だより

月刊 No.17

【九州沖縄ブロック事務所沖縄分室】  
〒900-0016 那覇市前島3-1-17  
電話.098-862-7521 FAX.098-862-7735

【国会事務所】〒100-8981 千代田区永田町2-2-1  
衆議院第一議員会館1107号室  
電話.03-3508-7196 FAX.03-3508-3626



声援にこたえる予定候補者ら(9月21日、那覇市おもろまち)

## オール沖縄4人全員勝利を あかみね議員が事務所開き

10月の解散・総選挙が取りざたされる中、あかみね政賢議員の沖縄1区からの勝利を必ずと事務所開きが行われました。オール沖縄の新垣クニオ(2区)、ヤラ朝博(3区)、金城トオル(4区)各予定候補も駆けつけ、会場あふれる参加者は1〜4区までの全員勝利で政治を

変えようと決意を固めました。

糸数慶子前参院議員は、自民党総裁選の候補者が経済を連呼していることに、「経済を狂わしているのは自民党政治ではないか」と批判。米兵による性的暴行事件と隠蔽を許さず、「何としても4人全員の勝利を」と訴えました。地域政党「沖縄うない」の比嘉京子代表は、裏金事件について「うやむやの状態だ。実態を明らかにしてほしい」と期待を述べました。

沖縄県の照屋義実副知事は、本土復帰から52年が経過し、米軍機の爆音被害が悪化していると指摘。県民が復帰にかけた基地のない平和で豊かな沖縄の実現に「希望と勇気をもって取り組んでいかなければならない」と訴えました。

あかみね議員は、県民の団結の力で断念に追い込んだうるま市の陸自訓練場建設計画で、自身を含む衆参5人のオール沖縄議員が立て続けに国会で追及し、委員会室の雰囲気を変えたと紹介。「県民の闘いの歴史を背負っているのがオール沖縄の議席。絶対に負けるわけにはいかない」と力を込めました。昨年12月の少女暴行事件で、基地の外に住む米兵を逮捕しなかったことを批判し、「県民の誇りをもって、対米追従の政治に立ち向かいたい」と決意を述べました。

伊波洋一、高良鉄美両参院議員は、オール沖縄の国会議員でつくる「うりずんの会」会長としてのあかみね議員の頑張りを紹介。那覇市議会野党市議団の代表として多和田栄子市議、冲教組の木本邦広委員長、県労連の穴井輝明議長、エッセイストの宮里千里元那覇市職員らが共に奮闘する決意を述べました。



石垣市と与那国町の中学校で採択されていた育鵬社の公民教科書が不採択になった▼太平洋戦争の

反省の視点が無いなど、現場教師から批判的な意見が続いた。不採択を求めて粘り強く取り組んできた住民の顔が浮かび、とても喜んだ▼一方の孫は、プロ野球や大谷選手の記録を追いかけるのに夢中だ。宿題の最中も、一問解いては、突然立ち上がって、素振りの練習をしている。鏡をみながら、大谷のポーズを確認している▼孫にもすっかりとした歴史を学んでほしいと願っているが、ジージーの思いが届くのはいつだろうか。

# 離島苦の訴え、切々 久米島町・渡名喜村調査

赤嶺政賢議員は比嘉瑞己  
県議とともに、8月29日に  
久米島町、30日に渡名喜村  
を訪問し、地域の要望を聞  
き取りました。



中村幸雄久米島副町長と懇談する赤嶺政賢議員と比嘉瑞己県議

久米島町では、中村幸雄副町長と懇談。副町長は、離島留學生の寮の舎監を町職員が担っている現状を紹介し、教職員免許を持った舎監を配置して、寮生活を教育の一環として保障したいと話しました。

全糖労久米島支部では、「近年の物価高騰で肥料や除草剤も値上がったが、キビの買取価格は変わらない。島を守ってきたサトウキビ農業を支えてほしい」との切実な訴えが寄せられました。



比嘉朗渡名喜村長(写真中央)と記念写真

渡名喜村では、比嘉朗村

長が応対。村職員の人手不足が深刻で、予算執行が出来るまいという苦境が語られました。

両町村に共通してあげられたのが、土地の未登記問題。未登記の土地の多さに農地

## この間の活動

- 那覇市内で街頭宣伝(8月26日、真和志地区)
- 宜野湾市長候補桃原イサオ街頭宣伝(同31日、9月1日、同2日、4日、5日、6日、7日)
- 玉城デニー知事訪米激励(同8日)
- 比嘉瑞己県議、湧川朝涉那覇市議と街頭宣伝(同10日、明治橋)
- 渡久地修県議、西中間久枝那覇市議と街頭宣伝(同13日、儀保駅)
- 比嘉瑞己県議と敬老の日街宣(同16日)
- 「沖縄を再び戦場にさせない県民の会」とうりずんの会で与那国調査(同17日、18日)



田村貴昭衆議院議員、党県議らとJAおきなわ訪問・懇談(同24日)

の集約化が進まず、今年4月からは相続登記が義務付けられました。課題解決のために手続きの簡素化を求める要望が出されました。

### 赤嶺議員の話

大学卒業後に教員として

八重山に赴任し、離島苦で島を離れていく人を目の当たりにした当時を思い出しました。島の発展なくして沖縄の発展はありません。島で生きていくことができよう、出された要望を国会でも取り上げていきます。

### あかみね政賢

## 市議・国会議員35年の実績・足跡(13)

オミクロン株の感染拡大は、米軍を規制しない岸田内閣の責任

大です。  
辺野古新基地、政府の設計変更承認申請を不承認

PCR検査を実施せずに日本に移動してきた米軍で新型コロナウイルス感染症が拡大し、沖縄では感染者が急激に増加。「米軍基地が感染拡大を招いた大きな要因」であり、日本政府の権限で出入国管理と検疫を実施できるよう日米地位協定の改定を政府に強く迫りました。山際担当大臣は、「日米同盟を毀損する」として要求を拒否。感染拡大の対策をとれない政府の責任は重

大浦湾で軟弱地盤が見つかり、政府は改めて県に設計変更を申請しました。改良できない地盤が残り、いつ完成するかもわかりません。玉城デニー知事は不承認とし、辺野古新基地建設は完全に行きづまっています。  
今年本土復帰50年。基地のない平和で豊かな沖縄をめざします。(『アカミネイケン国会だより』2022年1月号)